

取引ツール Formula における注文画面の変更について

2013年9月2日(月)より取引ツール Formula におきまして、以下の機能追加・変更を実施します。

1. 変更が適用されるシステム

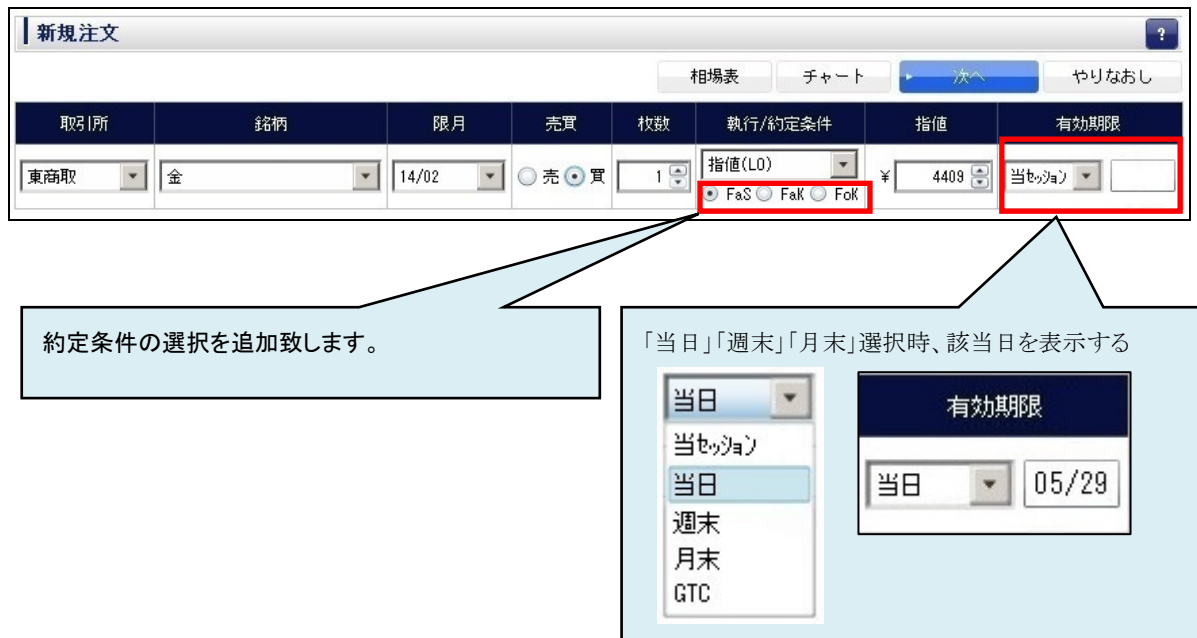
Formula (Web) <https://formula.commodity.co.jp/online/>

Formula (Mobile) <https://mobile.commodity.co.jp/m/main/LoginForm.do>

iFormula (iPhone アプリ)

<https://itunes.apple.com/jp/app/iformula/id650830894?l=ja&ls=1&mt=8> (App Store)

2. 新規/決済注文発注時における変更箇所について



(1)国内商品先物の銘柄において、新規/決済の注文画面上で約定条件の選択を追加します。

執行条件	変更前			変更後(H25/9/2~)		
	FaS	FaK	FoK	FaS	FaK	FoK
指値(LO)	○			○ (初期値)	○	○
成行(MO)		○			○ (初期値)	○
STOP(SO+MO)		○			○ (初期値)	○
STL(SO+LO)	○			○ (初期値)	○	○

～用語の説明～

**FaS(Fill and Store の略)**

: 約定できる数量は約定し、残数量は気配として残る条件。

例)10枚の注文発注→うち5枚が約定するが、残り5枚は未約定→未約定の5枚は有効期限の範囲内で、約定もしくは取消しがされない限り有効な注文として発注され続ける。

**FaK(Fill and Kill の略)**

: 約定できる枚数は約定し、残枚数は失効する条件。

例)10枚の注文発注→うち5枚が約定するが、残り5枚は未約定→未約定の5枚はキャンセルされ不成立となる。

**FoK(Fill or Kill の略)**

: 全量約定するか、全量約定できない場合は失効する条件。

例)10枚の注文発注→うち5枚が直ぐに約定できるが、残り5枚は約定できない→10枚の注文は全てキャンセルとなる。

(2) 国内商品先物の銘柄において、注文の有効期限を日付指定(最長 10 営業日先)から、区域指定に変更します。

有効期限	備考
1セッション	当該セッション(夜間、日中)の立会終了まで有効
当日	当営業日 15時まで有効
週末	当該週の最終営業日 15時半まで有効
月末	当該月の最終営業日 15時半まで有効
GTC	弊社の定めた最終取引日または、注文が約定するか取消されるまで有効

<補足> 約定条件と注文の有効期限の組み合わせ

執行条件	約定条件	有効期限		
		1セッション	当日/週末/月末	GTC
指値(LO)	FaS	○	○	○
	FaK		当日のみ可	
	FoK		当日のみ可	
成行(MO)	FaK		当日のみ可	
	FoK		当日のみ可	
STOP(SO+MO)	FaK		○	
	FoK		○	
STL(SO+LO)	FaS	○	○	○
	FaK		○	
	FoK		○	

### 3. 注文の訂正方式の変更について

(1).訂正注文時、「執行条件」「トリガー」の訂正は不可に、「数量」の訂正が可能となります。この変更により、これまでは注文の取消し→再発注(注文番号の取り直し)というプロセスでしたが、変更後は注文の再発注がなくなり同じ注文番号のまま訂正が可能となります。



「数量」は訂正が可能となります。

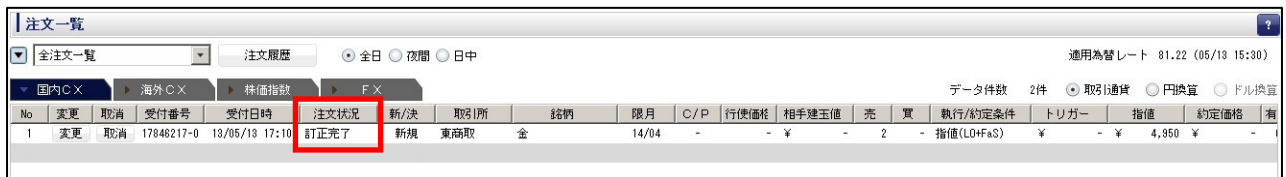
「執行条件」「トリガー」は訂正が不可となります。

項目	変更前	変更後(H25/9/2~)
	訂正可否	訂正可否
数量	×	○
執行条件	○	×
約定条件	×	×
トリガー価格	○	×
指値価格	○	○
有効期限	×	×

※数量訂正について増・減ともに数量訂正が可能です。取引所より付与される注文番号はそのままですが、増数訂正の場合に限り、当該注文の取引所内における注文執行順位は繰り下がります。

※執行条件、トリガー価格の変更をする際には、注文取消し画面で「注文取消し」を行っていただき、その後に新規/決済各画面から再度発注を行ってください。

(2).注文一覧画面での訂正注文の表示方法が変更となります。訂正が完了した注文は、同受付番号・同レコードのまま、注文状況が「訂正完了」と表示されます。



以上